



### ふれあい木工クラフト大盛況!

令和6年4月27日～5月6日に、釧路市こども遊学館で、GWイベント2024「木のおもちゃであそぼう!」が開催され、「くしろの木クイズラリー」や「エコ木ねんど」といった催しが行われました。

当センターは、4月27・28日の2日間、マツボックリやドンダリ、木の枝、輪切りといった森林の素材を使ったふれあい木工クラフトを開催しました。

当日は、小さなお子さんから大人の方まで、幅広い年代の方々が木工クラフトに熱中している姿が見られ、森林の恵みを存分に使ったフォトフレームやタンチョウの作品等、完成したものと一緒に笑顔で写真を撮る姿が印象的でした。

この2日間は、釧路市こども遊学館の皆様にお手伝いいただき、「つみつきーであそぼう」のコーナーでは、積み木を使って自由に遊べるスペースを設け、多くの方々に参加していただくことができました。

GW期間にご家族やお友達と一緒に、木工クラフト作りを楽しみイベントが開催でき、良かったと感じました。来年も木に触れ合う機会を提供したいと考えています。



▽完成した作品 (タンチョウ)



▽木工クラフトの様子



▽「森林講話」の様子

### 虹別中学校で環境学習

令和6年5月10日、標茶町立虹別中学校において、環境学習の時間で「森林講話」を行いました。この取組みは、令和4年度より毎年実施しており、今年度は身近な樹木、林業(循環する産業)について、3年生10名にパワーポイントの資料で説明しました。

まず、草と木の違い、身近で見られる樹木の解説を行いました。身近な樹木として、標茶町の町の木である「ナラ」を説明したところ、生徒の皆さんは樹名の由来等、熱心にメモを取っていました。



その後、林業は50〜100年のサイクルで「伐って・使って・植えて・育てる」循環する産業であること、将来の子どもたちのために、森林を整備していくことが大切であることを理解してもらえたと考えています。

最後にアクティビティとして、技術普及課で作成した「北の森カルタ」を行ったところ、生徒からは、取った札の頭文字で自分の名前ができたこと喜んでいました。

今回の取り組みを通じて、生徒の皆さんが森林の良き理解者になってもらえれば、うれしく思います。



▽「北の森カルタ」で熱中する様子



▽学校林散策の様子

「春の学校林活動」

中茶安別小中学校

令和6年5月20日、標茶町立中茶安別小中学校の学校林で、「春の学校林活動」が行われ、当センターは学校林の散策と植樹活動（保護管被覆）を支援しました。

まず始めに、散策路周辺のカラマツ、トドマツ、ミズナラ、キハダ等の樹木の特徴について、葉と樹皮に触れながら説明をしました。その後、昨年伐採したカラマツ伐根の年輪を数えました。みんな一生懸命に数えており、年輪は63本ありました。最後に、標茶町森林組合の組合長

が「植樹」について、当センターが植栽木を野生動物の食害から保護する「保護管（ツリーシールド）被覆」について説明しました。

カラマツは枝が多く、ツリーシールドの中に納めるのに、児童・生徒や保護者の方々は苦労していました。が、「動物に食べられないように大きく育てて」と願いながら被覆していました。



▽植樹と保護管被覆の様子



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h\_kushiro\_f@maff.go.jp

【URL】[https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro\\_fc/index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html)

国民の森林・国有林

当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。

